

【資料1-①】新幹線、高速道路をまたぐ橋梁の耐震補強3箇年プログラム

1. プログラムの策定

- ①「新幹線、高速道路をまたぐ橋梁の耐震補強3箇年プログラム」(H17年度～H19年度)を策定
 →各道路管理者、鉄道事業者等は整備方法や工程を協議し、3箇年で耐震補強が概ね完了するよう平成17年7月までにプログラムを策定予定。

2. 地方道路整備臨時交付金の活用による事業推進

- ①地方道路整備臨時交付金制度の柔軟性を活かし、耐震補強を重点化。
 (【資料1-②】参照)
 ②耐震補強事業に対する特別な予算措置を検討

3. 技術的支援

- ①技術者が不足している市町村等にアドバイザーを派遣し、現地調査や対策工法について支援。
 ②円滑な事業執行のため、鉄道事業者への協力要請。

【参考】耐震補強の進捗状況(平成16年度末見込み)(橋梁数)

	直轄国道	補助国道	都府県道	市町村道	合計	
跨線橋 (新幹線)	要対策数	7橋	9橋	30橋	212橋	258橋
	対策済数	6橋	4橋	8橋	54橋	72橋
	未対策数	1橋	5橋	22橋	158橋	186橋
	実施率	86%	44%	27%	25%	28%

	直轄国道	補助国道	都道府県道	市町村道	合計	
跨道橋 (高速道路)	要対策数	15橋	32橋	188橋	657橋	892橋
	対策済数	14橋	25橋	145橋	432橋	616橋
	未対策数	1橋	7橋	43橋	225橋	276橋
	実施率	93%	78%	77%	66%	69%

※表中の「高速道路」とは、高速自動車国道及び首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡道路のこと。
 ※上記データは各道路管理者からの聞き取りによるもので、プログラム策定前に再度調査予定。